

TOYOTA 40VELLFIRE

Executive Lounge/Z Premier

AAHH4#W/TAHA4#W 2023/6-

新技術「3Dモデリング」により、 さらに躍動する大人気Lクラスミニバン。

20系アルファードが登場するのと同時に初投入され、2015年に2代目の30系に進化したヴェルファイア。さらに2023年6月、20系・30系同様にアルファードとはまた違ったキャラクターが与えられた40系が登場しました。高い人気を誇り、バックオーダー状態が続くその40系ヴェルファイアに対し、私たちROWENはまずハーフタイプのボディキットからアプローチしました。

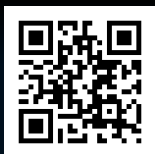
フロントスポイラーは下方向の安定感を増すようにデザインを構築。センター下部とその両サイドにLEDラインイルミネーションをインストールすることにより、未来的な雰囲気を漂わせることに成功しました。

サイドパネルは30系前期・後期モデル用とは大きく印象を変え、ROWENにしては比較的小さな造形に。リアアンダースポイラーのセンター下部は控えめなディフューザー形状にアレンジし、その両サイドにマフラーカッターをレイアウト。デュアルスクエア形状のこのマフラーカッターが40系ヴェルファイアによく似合っていると思います。

また、フロントフェンダー後端やリアドアに装着するエクステンションパーツもご用意。今後はフロントフェンダーやレーシングボンネットなど、さらに主張が大きなパーツを開発予定です。

20系の登場当初からアルファードより押し出しが強いデザインを採用され、迫力を重視するミニバンとしての立ち位置を盤石なものとしてきたヴェルファイア。40系用ボディキットではアルファード以上の迫力はそのままに、各部にクロームメッキをアレンジすることにより、ラグジュアリーな雰囲気も高めました。

なお、今回のボディキットは「3Dデジタルモデリング」という手法を採用して開発しました。これは3Dスキャナーを使って現車を測定し、3D CADでデザイン構築を行い、産業用大型3Dプリンターでフィッティングの良いABS樹脂製ボディキットを出力する最先端のボディキット製造方法。この「3Dデジタルモデリング」による純正パーツ並みのクオリティも40系ヴェルファイアの品格にマッチしていると思います。



ROWEN

<http://www.rowen.co.jp>

TOYOTA 40VELLFIRE

Executive Lounge/Z Premier

AAHH4#W/TAHA4#W 2023/6-



EXTERIOR

コード	パーツ名	材質
1T056A11	フロントスポイラー*LEDブレイド/メッキパーツ付属	Dry Carbon (クリア塗装済)
1T056A10	フロントスポイラー*LEDスポット/メッキパーツ付属	Dry Carbon (クリア塗装済)
1T056C10	フードエクステンション	Carbon*CFRP (クリア塗装済)
1T055E10	フロントフェンダーエクステンション	Carbon*CFRP (クリア塗装済)
1T055J10	サイドパネル8pcs*メッキパーツ付属	Dry Carbon (クリア塗装済)
1T055J11	サイドパネル8pcs*メッキパーツ付属*ユニバーサルステップ付車 ※1	Dry Carbon (クリア塗装済)
1T055E11	サイドボディエクステンション	Carbon*CFRP (クリア塗装済)
1T056P10	リアアンダースポイラー*マフラーチップ(メッキ)/メッキパーツ付属	Dry Carbon (クリア塗装済)
1T055W10	リアウイング*LEDライナー付	Dry Carbon (クリア塗装済)

BODY KIT SIZE 1 フロントスポイラー/サイドパネル/リアアンダースポイラー

Front	Side	Rear
前 (←) 方向 50mm 張出 (⇔) 方向 10mm 横 (↓) 40mm Down 中 (↓) 55mm Down 中心 (↓) 65mm Down	張出 (⇔) 方向 15mm 下 (↓) 方向 35mm	後 (→) 方向 60mm 張出 (⇔) 方向 30mm 横 (↓) 45mm Down 中 (↓) 70mm Down 中心 (↓) 75mm Down



商品詳細・価格など、詳しい情報は
ROWEN Official websiteをご覧ください。

